

平成 30 年 1 月 26 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

フィリピン投資委員会およびセキュリティバンクとの協定締結について

株式会社三菱東京 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かねつぐ} 三毛 兼承 以下、当行）は、本日、フィリピン共和国（以下、フィリピン）のフィリピン投資委員会（Philippines Board of Investment 以下、BOI）および当行の持分法適用会社であるフィリピン大手商業銀行 Security Bank Corporation（以下、セキュリティバンク）との間で、日比両国での投資促進に関する協定（以下、本協定）を締結いたしました。

1. 本協定締結の目的・背景

当行は、2016 年にセキュリティバンクとの戦略的資本・業務提携を行うなど、日比両国のお客さまに対し、より一層、付加価値の高い金融サービスをご提供できる体制を構築してまいりました。また、当行と BOI は二者間の協定を過去より締結しており、関係深化を図ってまいりましたが、セキュリティバンクの持分法適用会社化と業務提携関係の深化を契機に、改めて三者間での協定を締結することとなりました。当行のグローバルネットワークとセキュリティバンクのローカルネットワークの活用を通じ、日比両国企業によるフィリピン投資を一層促進し、両国の経済・産業の発展への貢献を果たしてまいります。

2. 本協定の概要

- (1) 投資セミナー、ビジネスマッチング等の開催
- (2) 投資家と企業間の協業・業務提携関係の構築支援
- (3) 協業推進に向けた特命担当チームの編成
- (4) 日系企業へのフィリピン企業の紹介、及びフィリピン政府の指定する産業、業種への日系企業に対する投資推奨等
- (5) フィリピンにおける事業展開に係る情報交換等

3. セキュリティバンクの概要

セキュリティバンクは、フィリピンにおいて民間銀行として第 5 位の資産規模を有する地場上場商業銀行であり、フィリピン全土に 303 支店を有し、個人のお客さまから、中堅中小・大企業のお客さまに対して、法人金融、消費者金融、投資、資産運用等の包括的な金融サービスを提供しています。三菱東京 UFJ 銀行は、2016 年 4 月に同行株式の約 20%を取得し、持分法適用会社化いたしました。

4. BOI の概要

BOI は、1967 年、同国投資インセンティブ法（Investment Incentive Act）の制定と同時に設立された貿易産業省管轄の外国投資誘致促進機関です。具体的には、毎年発表される投資優先計画（IPP: Investment Priority Plan）を策定するとともに、当該計画において指定された分野に投資する企業に対して、免税等各種優遇措置を付与するなど外国投資誘致政策を担っています。

以 上